

遠藤 守 レポート

発行：遠藤守後援会

特勤手当で見直しで、年3億円を節減

東京都は、著しく危険だったり、困難な仕事をしている職員に対し、給与とは別に支給している「特殊勤務手当」のうち、いわゆる土日手当などを10月より廃止することになりました。これにより、都全体で年間約3億3000万円の節減となります。

この見直しは、今年3月の都議会本会議で初質問に立った遠藤守が、「昨今の経済社会情勢をかんがみ、(中略)職員にとって真に必要なある手当は残しつつも、必要性の薄れた手当は思い切って廃止するなど、大胆に見直すべき」との提案を踏まえ、行われたものです。

○「駐車規制」などで論戦○

都議会の第2回定例会(2定)は、6月21日閉会しました。13日に行われた各党代表質問には公明党から小磯議員(町田市選出)が登壇しました。

このうち、今月から強化された違法駐車を取り締まりについて、小磯氏は「荷さばき等の需要が多い道路については、事業者の意見・要望を踏まえ、必要な駐車スペースの整備すべき」、「介護福祉関係者や中小企業、商店などへの配慮が必要」などと主張。これに対し都側は、1)貨物車両のためのパーキングメーターの設置拡大2)駐車規制の緩和——など地域の実態を踏まえた運用を進める考えを示しました。

なお、この問題をめぐっては、公明党の太田昭

宏幹事長代行らが5月9日、沓掛(くつかけ)国家公安委員長に対し、物流関係の業務用車両に対し配慮を求める要望書を手渡しています。

○暗い帰宅路、65ヶ所が改善○

公明党大田総支部の女性青年党員らが昨年行った「帰宅路総点検」に基づく、改善結果がこのほど明らかになりました。これは、6月9日の区議会本会議で、清波議員の質問に区当局が明らかにしたものです。街路灯新設などの改善箇所は大森、調布地区を中心に全65ヶ所。このうち、すでに48ヶ所の工事を終え、残る17ヶ所も今年度中に完了します。

この問題について遠藤守は、昨年4月18日、総点検を行ったヤング党員の代表らと西野大田区長に会い、調査結果を参考に早期の改善を要望。西野区長から「指摘された個所について再点検する」との回答を得ていました。

○来夏の参院選で11氏公認○

公明党は5月18日の中央幹事会で、来年夏の参院選に挑む11人の予定候補(第1次公認)を決定しました。

選挙区は、東京選挙区の山口那津男氏(現)ら5選挙区5人。比例区は遠山清彦氏(現)ら6人です。なお、草川昭三副代表、福本潤一氏は今期限りで勇退します。